○年○月○日

研修室にて

校内食物アレルギー研修会

１　緊急時の対応の実際（シミュレーション）　　　　　　　　進行　保健主事

４年２組　児童の例で実施しましょう。

　　・食物アレルギー・アナフィラキシー発症時の対応について

　　・教室用アナフィラキシー緊急対応経過記録票について

◎準備　　　名札（各先生・児童・救急隊 等）、各部屋の表示（保健室・職員室・校長室）

練習用のエピペン、薬、ＡＥＤ、献立表

アレルギーファイル（アレルギー管理指導表・個別取り組みプラン・経過観察記録票・

アレルギー緊急対応マニュアル）、他

◎配役　　　ナレーター：（　　　　　）

担任○（　　　　　）　隣のクラスの担任△（　　　　　）　保護者（　　　　　　）

児童：Ａ（　　　　）、Ｂ（　　　　　）　　、クラス児童（　　　　）（　　　　）

校長　教頭　養護教諭、栄養士、職員室にいる教職員：（　　　　）（　　　　）（　　　　）

救急隊（　　　　　）（　　　　　）

＊配役のない先生・・・気づいたことを記録してください。

では、やってみましょう！

＜観察ポイント＞

1. 落ち着いて判断し行動できるか
2. 必要な書類や物品の活用は適切か
3. 指示伝達がスムーズにできているか
4. 役割分担が明らかになっているか

２　感想発表（学年主任）

３　指導助言（学校医）

４　質疑応答

　　　最後に全員でエピペンの使い方を練習します。

**アレルギー緊急時対応シミュレーション**

◎あらすじ

ここは、４年２組です。今日の献立は、卵入り春雨スープ、中華丼、みかん、牛乳です。

Ａくんは、卵のアレルギーがあるので、卵を除去した春雨スープです。担任からラップしてあるＡくんの給食を受け取りましたが、食欲旺盛なＡくんは、おかわりをして卵入りのスープを飲んでしまいました。以前担任からアレルギー対応のある日はおかわりできないと聞いていましたが忘れていました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 役　割 | 動　　　　　き | 準　備 |
| ナレーション  **発見**  児童Ｂ  ○先生（担任）  児童Ａ  ナレーション  ○先生（担任）  **応援要請**  ○先生（担任）  **観察記録**  児童Ｂ  ナレーション  △先生（1組担任）  ○先生（担任）  △先生（1組担任）  ナレーション  **観察記録**  養　護  　（到着）  ○先生（担任）  養　護  校長（到着）  養　護  ○先生（担任）  校　長  養　護  ナレーション  ○先生（担任）  養　護  校　長  同時進行  ナレーション  養　護  養　護  **連絡**  教　頭  救急司令室  教　頭  救急司令室  教　頭  救急司令室  教　頭  救急司令室  教　頭  救急司令室  教　頭  校　長  ▲先生  保護者 | 給食後の休み時間のことです。教室で児童が席に座り体調が悪そうにしています。  「○先生、Ａちゃんが・・・気持ち悪いって言っています。」  児童Ｂが呼びに来ます。  ○先生は、駆け寄り「Ａさん、どうしたの？」と、声をかけながら、児童の様子を確認します。  「お腹がいたい。」  よくみると、児童Ａさんは、唇が腫れています。  「アレルギー反応かもしれない。」  児童の様子から、緊急性があると感じた○先生は、そばにいた児童に「Ｃさん達、保健室へ行って保健の先生と職員室へ行って校長先生を呼んできて！」  「Ｂさん、ＳＯＳカードを持って、４年１組の△△先生をよんできて。」  連絡後、時間を確認します。  「△先生、すぐに４年２組に来てください」とSOSカードを渡しながら大きな声で叫びます。  隣のクラスの担任が駆けつけると、苦しそうにしている児童Ａさんと看護する○先生の姿があり、緊急事態を察知します。  「○先生、どうしたのですか？」と、○先生に駆け寄ります。  「アナフィラキシーかもしれません。職員室にも連絡をしました。」  「わかりました。」「４年２組のみなさんは、隣のクラスに移動しましょう。」児童を自分の教室に誘導します。  ○先生は、児童Ａから離れずに観察を続けながら、記録票に記入します。連絡を受けた養護教諭は、アレルギーファイル、ＡＥＤと救急バック、タオルケットを持って保健室からかけつけました。  「Ａさん、大丈夫？顔が赤いね。先生、さっきと比べてどうですか。」  「さっきと比べて、辛そうです。給食を食べ終わってから、のどに違和感が出始めたようで、唇も腫れています。」  「お腹が痛いの？」苦しそうにしている児童A  「大丈夫ですか？」  「Ａさんは卵のアレルギーがあります。」アレルギーファイルを見せる。  「はい。アレルギー献立を確認し、本人に給食を手渡しました。  まわりの子の話では、おかわりをしてしまったようです。」  養護教諭はアレルギー疾患用生活管理指導表、個別取組プラン、アレルギー緊急対応マニュアルをもとに対応方法を管理職・担任に伝え確認します。  「それは、心配だ。」  「〇先生、エピペンがランドセルに入っているので、用意してください。」「Aさん、横になろうか。」  教室の空間に横にする。  **（１）意識状態の確認、呼吸の有無、心拍数の確認**  **（２）嘔吐に備え、顔を横向きにさせる。**  ＊顔色が悪ければ、足を頭より高くした状態で寝かせる  「ありました。」担任が取り出し、エピペンを養護教諭に渡す。  「校長先生、緊急性に高い症状です。エピペンを使用しましょう。救急車も呼んだほうがいいと思います。○先生、記録を変わります。」  「わかりました。職員室へ連絡します。」  インターホンにて  「教頭先生、４年２組の児童Ａさんが給食の時、誤って卵を食べてしまったようです。  アナフィラキシー症状があるため、①救急車の要請をお願いします。児童の状況は、吐き気と腹痛を訴えています。②保護者へも連絡し状況を伝えてください。」  **（３）エピペンを打つ。**  養護教諭は、５分毎に症状や行った処置について経過観察記録票に記入します。  「Ａさん、エピペンを打つけど、動かないで我慢してね。」  校長、担任、職員室からかけつけた先生は、足を動かさないように押さえ見守る。学校生活管理指導表5－2の「エピペンの使い方」を見て、声を出して確認しながら行います。  **①ケースから出す。②しっかり握る。③安全キャップをはずす。**  **④太ももに注射する。⑤確認する。⑥マッサージする。**  「エピペン、〇時〇分使用しました。」  連絡の入った職員室では・・・。  職員室にいた職員に指示します。  「●●先生、４の２へ応援に行ってください。」「▲先生（学年主任）、保護者へ連絡してください。」  **救急車の要請を行う。**あわてずゆっくり正確に伝える。  「はい。こちら消防署です。火事ですか？救急ですか？」  「救急です。☆小学校ですが、食物アレルギーでエピペンを処方されている子どもにアナフィラキシーの症状が出ています。」  「わかりました。住所はどこですか？」  「○市○町１丁目１番地１　☆小学校です。」  「どのような症状ですか？」  「給食のあと、腹痛、そして吐き気が続いています。」  「わかりました。あなたの名前と連絡先を教えてください。」  「私は☆小教頭の○です。電話番号は027-321-1234です。」  「では、すぐにそちらへ向かいます。救急車の誘導をお願いします。」  校長先生へ連絡「〇時〇分、１１９番通報しました。」  「わかりました。救急車の誘導のため、手の空いた職員を南門へ向かわせください。」▽先生は、玄関前まで救急車を誘導する。  **保護者へ連絡を行う。**  「もしもしＡさんのお母さんですか？Aさんが給食を食べて、腹痛と吐き気が続いています。さきほど、エピペンを使用しました。」  「わかりました。すぐに学校に向かうようにしますが、職場なので時間が少しかかります。搬送先がわかりしだい教えてください。」 | 経過観察記録票  アレルギーファイル  ＡＥＤ  救急バック  タオルケット  エピペン  学校生活管理指導表5－2 |

＊担任と養護教諭は記録用紙に時間、症状の経過を細かく記録する。

＊養護教諭は、経過観察記録票と使用済みエピペン、保健調査票、携帯を持って救急車に同乗する。

＊担任は保護者へ搬送先を連絡する。

＊校長はアナフィラキシーの報告を教育委員会にする。

＜養護教諭不在時＞

・担任が経過観察記録票と使用済みエピペン、携帯を持って救急車に同乗する。

・管理職が空いている職員に、

1. アレルギー疾患生活管理指導表、個別取組プラン、アレルギー緊急対応マニュアルの入ったアレルギーファイル（職員室）
2. ＡＥＤと救急バック、タオルケット（保健室）

を持ってくるよう指示する。